

フォーバル、 薩摩川内市の「中小企業DX支援事業業務」を3年連続受託 ～自治体と民間が連携し、DXによる生産性向上や業務効率化を支援～

株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、鹿児島県薩摩川内市より、令和8年度「中小企業DX支援事業業務」（以下「本事業」）を受託しました。本受託を通じ、薩摩川内市の中小企業のDXの推進を支援します。



「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る

事業受託の背景と目的

フォーバルと薩摩川内市では、令和6年度より市内中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を目的とした支援事業を展開してきました。昨年度は、支援企業6社を対象に各社の課題に応じたロードマップを策定し、業務フローの可視化からITツール活用、運用設計、効果測定まで一貫した伴走支援を実施いたしました。

人口減少と高齢化が進む薩摩川内市では、地域企業の持続可能な経営が大きな課題となっています。こうした背景のもと、自治体と民間が連携し、DXによる生産性向上や業務効率化を支援する本事業は、地域経済の再生に向けた重要な取り組みです。

本事業では、企業ごとの経営課題を可視化し、デジタルツール導入までを一貫して支援します。さらに、取り組みの成果を市内に広く発信することで、DXの普及啓発を図ります。

▶「令和8年度薩摩川内市 中小企業DX支援事業」公式サイト：<https://satsumasendai-dx.jp/>

事業受託の内容

主な取り組みは、以下のとおりです。

①DX理解促進・普及啓発セミナーの開催

市内の中小企業のDXにかかる機運醸成を図るため、デジタルツールやDXへの興味関心を啓発するセミナーを開催します。

内容：DXに関する基礎知識や事例紹介、本事業の内容など

開催時期：令和8年7月10日（金）

開催方法：現地開催

会場：SSプラザせんだい 会議室

対象者：市内の中小企業

②専門家によるDX支援

企業が抱える経営課題を可視化し、その解決に向けてDXを推進します。

③成果発表報告会

本事業を通じて経営課題の解決に取り組まれた企業の優良事例を紹介する成果発表会を開催いたします。市内企業の皆さまに向けて、DXの効果や取り組み内容を発信する機会といたします。

- ・開催時期：令和9年2月9日（火）
- ・開催方法：現地開催とオンライン配信の併用
- ・会場（現地開催）：SSプラザせんだい 会議室
- ・対象者：市内の企業など

株式会社フォーバルについて

株式会社フォーバル（東証スタンダード：8275）は、中小・小規模企業向けの伴走コンサルティングを主力事業とし、「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野で経営支援サービスを展開しています。独自の「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」モデルを通じて、経営課題の可視化から改善提案、実行支援までを一気通貫で提供し、ESG経営、人的資本経営、DX/GX推進など企業価値向上に資する高付加価値支援を行っています。

また、地方創生戦略「F-Japan構想」のもと、自治体、民間企業、教育機関、金融機関との連携による地域共創モデルの構築および横展開を推進しています。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 將典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>